

農業経営の未来戦略

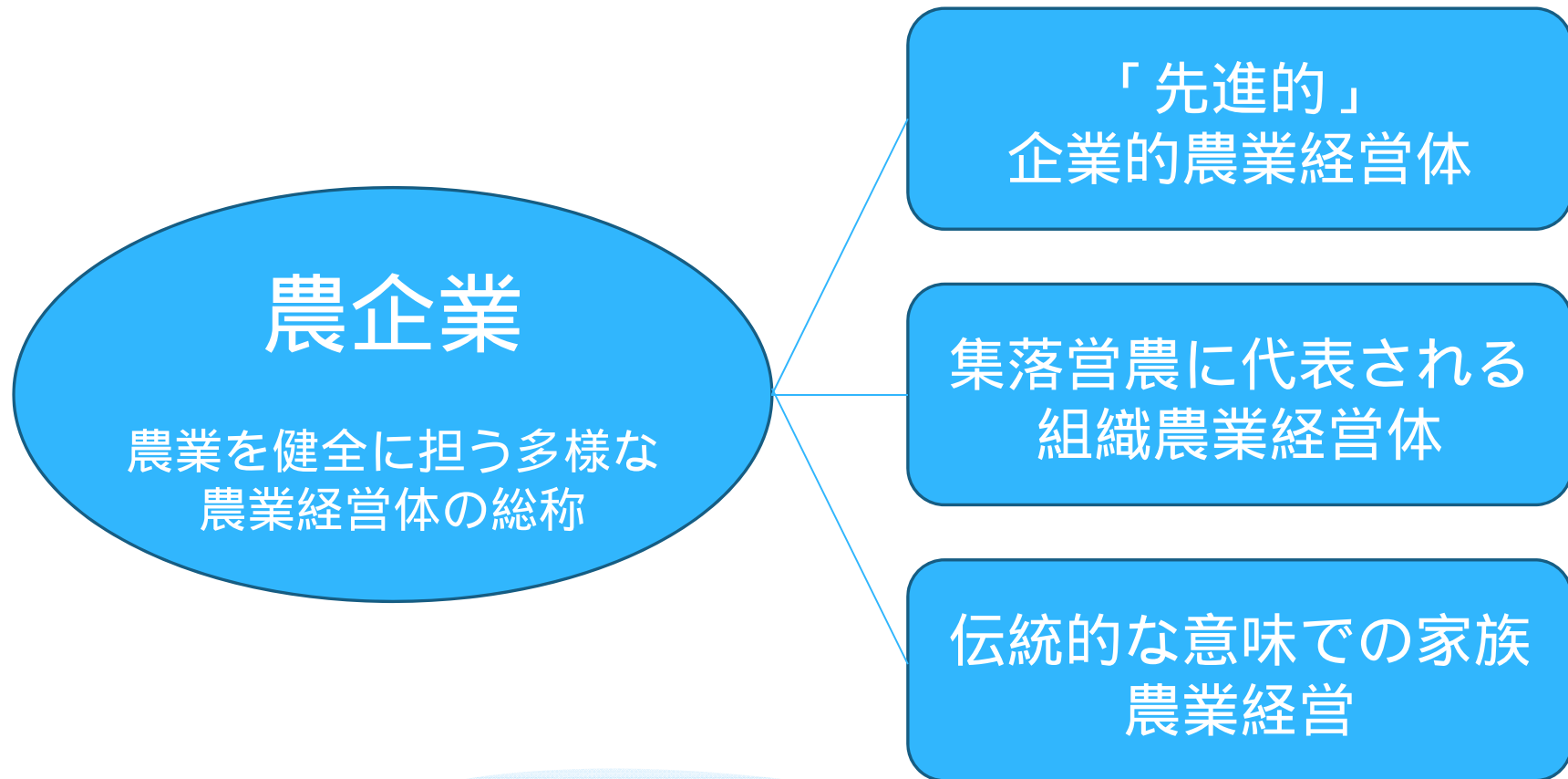
農業経営の発展と農企業 2015.10.19

京都大学大学院農学研究科

生物資源経済学専攻 寄附講座

「農林中央金庫」次世代を担う農企業戦略論講座

農業経営の発展と農企業 「農企業」とは



農業経営の発展と農企業

農業経営体の太宗を占める家族経営

経営耕地30a以上又は販売金額
50万円以上、又は農作業受託

	農業経営体	家族経営体	組織経営体	組織経営体	
				法人	非法人
2005年	2,009,380	1,981,283 (98.6%)	28,097 (1.4%)	13,869	13,723
2010年	1,679,084	1,648,076 (98.2%)	31,008 (1.6%)	17,069	13,602
増減率	83.6%	83.1%	110.3%	123.1%	99.1%

日本農業の基礎的な
担い手は家族経営

家族経営
法人経営？
企業（的）経営？

農業経営の発展と農企業 企業？ or 法人？

* 法人

- * 自然人以外（=組織体）で、自然人同様の人格や権利を与えられたもの
- * 通常、法によって人格が賦与される

農業経営の発展と農企業 企業？ or 法人？

* 企業

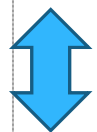
- * 市場経済のなかで財・サービスの生産という社会的機能を担う経済単位（小学館 日本大百科事典）
- * 国民経済を構成する基本的単位であり、生産手段の所有と労働の分離を基礎として、営利目的を追求する独立的な生産経済単位（経営学辞典）
- * さらに、資本・経営・労働を完全に分離し、「利潤追求」を目的にするものに限定する考え方も

農業経営の発展と農企業

家族経営、企業（的）経営、法人経営？

* 家族（農業）経営

- * 家計と経営が未分離
- * 主に家族労働力、自作地、自己資本の結合



しばしば対のものとして捉えられるが、中間的なもの（企業的家族経営）も

法人経営

* 企業経営

- * 家計と経営が分離
- * 雇用労働と資本が別

農業経営の発展と農企業 家族経営の優位性

- * 家族の労働力をある程度柔軟に利用できる
- * 意思決定の容易さ
- * 市場価格の低下で一時的に収益が減っても、ある程度は経営を持続できる
- * 農村の血縁や地縁を通じて相互扶助、互酬関係を築き、食糧安全保障や社会的セーフティネット、文化・伝統の担い手として機能する
- * 小規模家族経営農業が大規模農業より生産性が高い場合がある

など

企業経営・企業的農業経営体

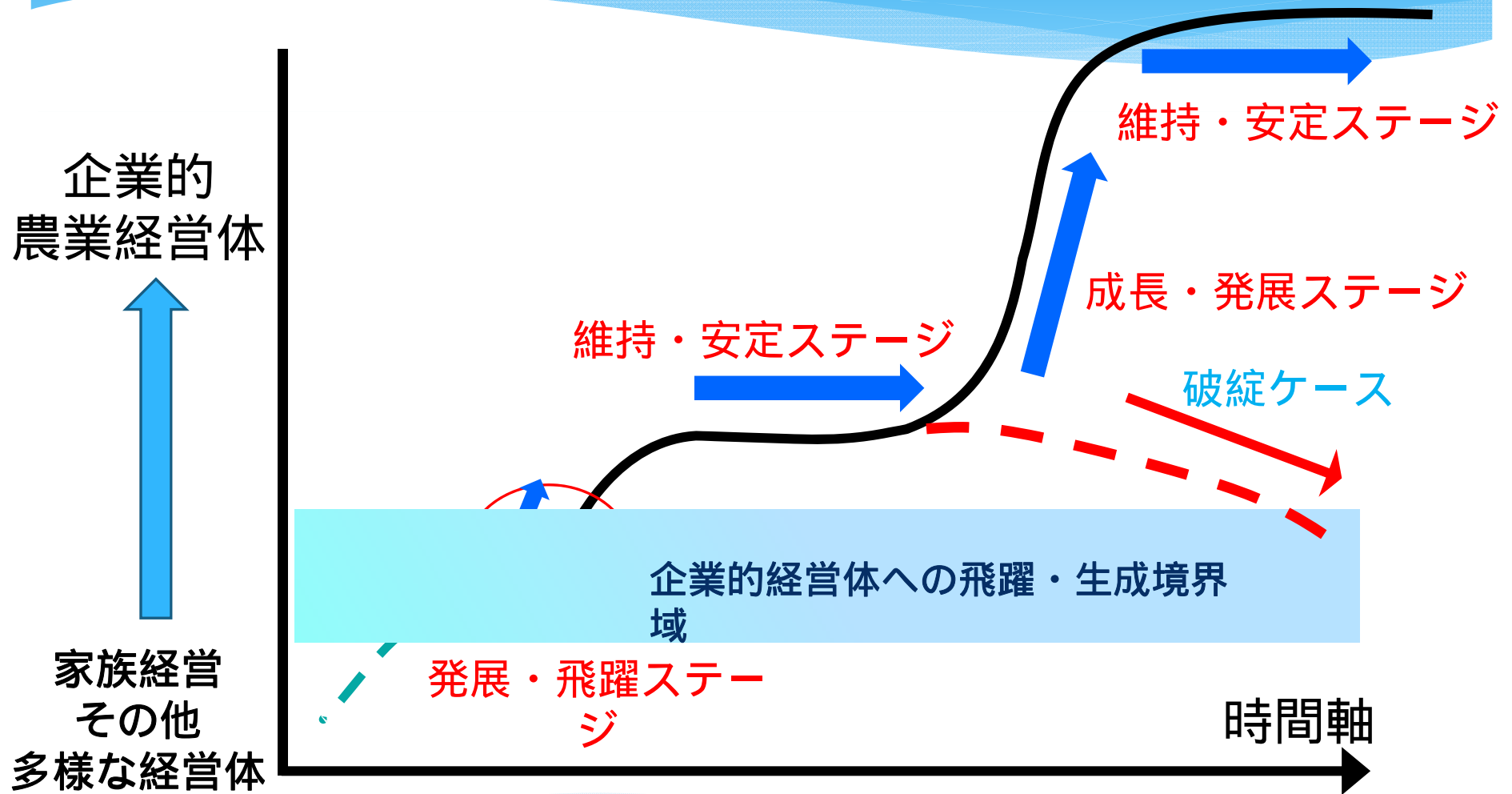
- * 「企業経営」の外形的特徴
 - * 取締役会等の機能
 - * 経営陣の善管注意義務、忠実義務
 - * 業務規定、給与規定、役員報酬規定等々の諸規定
 - * 業務・会計監査を含む内部統制システム
 - * 事業経営体としての持続性
- * 企業的農業経営体
 - * 企業経営の外形的特徴をもつ農業経営体は現在の日本では少ない
 - * 企業経営の方向を目指す農業経営体を「企業的農業経営体」と呼ぶ

農業経営の発展と農企業

農企業はどのように生まれてくるのか

1. 家族農業経営からの展開（内発的）
2. 農産物集出荷販売事業体からの展開
 - * 消費者との直接取引、中食・外食との連携、周年出荷
3. 農外企業や農・食関連産業（漬物会社、外食産業、市民生協など）からの参入、展開（外発的）
 - * 親企業の加工原材料確保
 - * 親企業のCSR活動の一環 など

農業経営の発展と農企業 企業的農業経営体としての生成と展開、挑戦と飛躍



農業経営の発展と農企業

企業的農業経営体増加の外部的背景

- * 農業を巡る情勢の変化
 - * 担い手不足
 - * 技術の高度化
 - * 農産物需要の変化
 - * 規制緩和

農業経営の発展と農企業

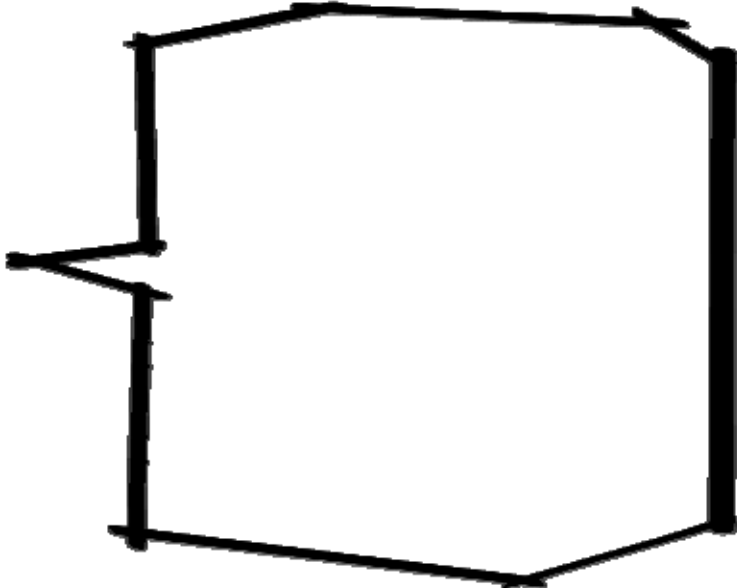
企業的農業経営体増加の内部的反応

* 情勢変化への経営体の対応

- * 生産規模拡大により「規模の経済・利益」の追求
- * 事業の多角化による「範囲の経済」
 - * 水平的：複合経営、受託
 - * 垂直的：資材製造販売、加工、流通、販売
 - * 集中型：観光農園、農家レストラン
 - * コングロマリット：造園、建設・土木、コンサルティング

農業経営の発展と農企業 農企業への期待

- * 地域の先駆的農業を担うリーディングファーム
- * 次世代の農業を担う人材育成
 - * 研修者・インターンシップなどの受入
 - * 地域農業への技術普及・社会的貢献
- * 六次産業化等による地域農産物の付加価値向上
- * 地域雇用の創出・地域経済の活性化
- * 農地を含む地域農業資源の維持・保全



単に生産の拡大
や利潤の追求だ
けでなく、社会
的責任が求めら
れている